

～一人ひとりを大切に～

戸田ゆき子の ニューズレター



2009.10.30. No.6

発行 戸田ゆき子とともに市政を考える会
〒284-0001 四街道市大日160-27
E-mail yukiko7toda@yahoo.co.jp

TEL & FAX 043-421-3541
郵便振替 00140-0-484033

9月議会報告

市内小・中学校4校の体育館・耐震改修工事、前倒して実施

―校舎の耐震は全17校実施済み―

9月議会は、小池市長の突然の入院により市長不在の一抹の寂しさを感じる議会となりました。一日も早い復帰をお祈りいたします。

今回、総額24億2590万円の補正予算が生まれ、そのうちスクールニューディール構想関連事業（教育費）として約11億7177万円を計上。その主なものは、旭小学校改築工事費の5億7465万円の他に、計画を前倒して取り組むことになった四街道小、中央小、山梨小、千代田中の体育館耐震改修工事です。児童・生徒の安全面を考えた素早い対応を評価したいと思います。

これにより体育館の耐震改修未実施校は、西中、みそら小、四和小、八木原小、大日小、栗山小、旭中の7校となり、それぞれ平成24年・25年度に実施予定です。



南部保育所 早期の開所を

場所は未定ながら土地購入費1億円（2000㎡×5万円）を予算計上。

市は保育所用地と設置運営事業者を公募し、用地1社・設置運営2社（社会福祉法人）の応募があり、10月中に内部の施設用地委員会で用地購入を含め業者を選定する予定です。

自主研修

スウェーデンの福祉に学ぶ

市川房枝記念会主催の政治参画セミナーに参加し、スウェーデンの政治に詳しい早稲田大学の岡沢憲美教授の講座を聞いてきました。10年前にはツアーに参加し、スウェーデンを案内していただいたり、その講演は何度もお聞きしていますが、聞くたびに、高負担・高福祉社会を実現したスウェーデン社会の奥の深さを感じます。

190年間平和を維持し、政治に対する国民の信頼が熱い国。見える政治、わかりやすい行政、家庭と地域と職場を男女が共有する、女性議員の割合が高い、大学までの教育費が無料である、高い投票率など、好感度は高いものがあります。もちろん成功例だけではなく失敗もあると思います。が、なぜ、スウェーデンは高負担・高福祉の社会が実現できたのか、学ぶ点は多々あることを実感しました。（7月18日～19日）

190年間平和を維持してきた国だからこそ言える言葉
「平和に勝る福祉なし、戦争に勝る環境破壊なし」

す。借地、市有地提供も考え予算措置されました。平成23年4月開設予定。

保育所の不足は、働きたくても保育所に入れないため働けない。保育所に入るには働いていなければ入れないという悪循環を招き、少子化を助長しかねない問題です。9月1日現在市内の待機児童は38人（0才・8人 1才・14人 2才・5人 3才・10人 4才・1人 5才・0人）。潜在している待機者もいますので、一日も早い開設を求めていきます。

一般質問から

図書館の指定管理者制度導入をめぐる動きに異議あり！

図書館は、地域住民の文化を支え、利用者一人一人の成長を支えるために設置されている教育施設です。現在、公の施設には行財政改革の一環として、指定管理者制度の導入が進められてきています。

本市の図書館についても例外ではなく、指定管理者制度を導入するのか・しないのか図書館協議会で検討中であり、最終決定には、教育委員会議での議決が必要です。教育委員会では、本年度中にまとめたいとの答弁でした。

*教育委員会議で議決されていないのに

行革推進計画に記載

しかし、教育委員会議で導入するとの議決をしていないのに、策定中の行財政改革推進計画には、平成26年から指定管理者制度導入と記載されており、指定管理者制度導入ありきで話が進んでいるとしたら由々しき問題です。

本市では、千代田保育所の民営化問題で市民の反対運動が起き、導入が撤回されたことは、記憶に新しいことです。人を育てる施設であるにもかかわらず、行政がきちんとした検証もせずに経費節減のために制度導入ありきで話をすすめ、市民の不信感を招きました。

*指定管理者制度は馴染まない

県内で図書館を設置している39市町村の指定管理者制度の導入状況は、3市が導入（いずれも複数館設置されていて、基幹館には導入されておらず）、17市町村が導入しないとされており、本市より財政規模が小さな自治体で導入しないと明言している自治体もあります。

既に導入した自治体で直営に戻したところも全国で3館（島根県2館・福岡県1館）あることを考えると、制度導入には、しっかりとした議論のもと、慎重な取り組みが求められています。

図書館は、人を育てる施設であり教育施設ですので、経費節減のみ目的の、競走原理で働く指定管理者制度の導入は馴染みません。導入には慎重を期すべき施設であることから、教育委員会としてもこれまで時間をかけて検討してきたはずで

教育委員会議の結論を誘導するようなやり方はおかしなことです。行革推進計画からの削除を求めました。



平和こそ人権の基本



◎今だからこそ語り続けよう、戦争体験

14回目を迎えた戦争体験を語る会(8月22日)は、井下田猛氏に「13才の戦争体験」を語っていただいた。文化センター会議室は、10代から70代までの方でいっぱいになり、参加者からも体験談が語られ、命の大切さ、平和の大切さを改めて実感しました。

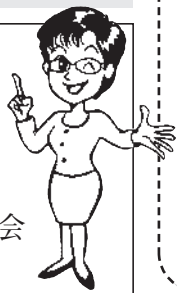
◎「核兵器のない世界を」に署名のお願い！

「平和と文化のまち・四街道」をめざすアオギリの会では、2010年5月の国連「核不拡散条約(NPT)再検討会議」に四街道から35000の署名を届けようと署名活動に取り組んでいます。賛同者には小池市長始め市議会議員全員(22人)と県議会議員(2人)が名前を連ね、市民の賛同者も続々と増えてきています。最終メ切は来年2月末。署名を集めてくれる人も大歓迎。

戸田(421-3541)までお問い合わせください。

12月議会の予定

- 11月24日(火) 13時 開会
 - 12月1日～8日 一般質問
 - 10日～11日 各常任委員会
 - 17日(木) 13時 議案総括審議・閉会
- 傍聴においでください



自主研修

老いこそ出番

障害こそ出番

8月30日、潮谷前熊本県知事の講演会が市文化センター会議室で行われました。

熊本県知事として、ユニバーサルデザインをまちづくりの中心にし、最初から一番弱い人に合わせて、当事者参加と本当に県民のためになっているのか、これでいいのか？これでいいのか？と何度もプロセスを振り返り、自問した。今を学ぶことから、将来を展望することができる、常に命の検証をしていくことを続けられたそうです。

い、ふれ合うことで隣人の違和感を感じることができ。この違和感に気づくことが大事である。

今の時代は、貨幣価値の有無を求めすぎている。貨幣的な価値ではない非貨幣的な価値がある。それに向かって歩いていくこと。これからはNPOの働きが大事であると話されました。

弱い立場の人と同じ視点で考える。この姿勢をこれからもしっかりと胸に刻み、活動していきたいと思いました。生命・人権・平和を守る、という譲れない基準に共感！



潮谷義子前熊本県知事と